学校番号	３０８

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第２学年	PerspectiveEnglish CommunicationⅡ(第一学習社) 本文完成ノート、システム英単語、READING CORE 、Listening Essentials

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱでは、１年生で学習したことを基礎にして英語の 4 技能を統合的に伸ばしていきます。その中でも特に、リーディング、リスニング、スピーキングの３技能を伸ばす活動として、音読、ペアワーク、グループワークなど、英語の音声を通じての活動を多く行います。「聞く」・「話す」活動に積極的に取り組み４技能をバランスよく伸ばしていきましょう。
・２年生時に学習する語彙や表現の習得は、４技能全てにおいて非常に重要な基礎となり、今後の発展的学習の要となります。予習・復習において、正しい発音に留意しながら何度も声に出して例文・本文を読むことで、各レッスンごとにしっかり語彙と表現を習得し増やしていきましょう。
・リーディングスキルを伸ばすために、速読と精読の両方が必要です。必ず両方にしっかり取り組み、それぞれに必要なスキルを理解し、習得していきましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：コミュニケーション英語Ⅱ（３単位）、英語表現Ⅱ（２単位）

主な教材：Perspective E.C.Ⅱ(第一学習社)、Vision Quest English ExpressionⅡ Ace(啓林館)

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・わかりやすい表現を使って、伝わるように工夫しながら、積極的にコミュニケーションをとることができる。 ・正しい発音やイントネーションで伝えることができる ・決められたテーマや自分が選んだテーマについて表や絵などを用いて聞き手の様子を見ながらでプレゼンテーションができる	コ英Ⅱ プレゼンテーション 英表Ⅱ 暗唱テスト	・１年次より学んだ文法・表現を使って正しく英文を書くことができる。 ・論理的なパラグラフの構成を理解し、100 語程度のエッセイが書ける。 ・与えられたテーマや問題について、自分の意見・考えを整理し、適切な例示を使ってエッセイが書ける。 ・辞書や資料を必要に応じて適切に使いこなすことができる。	コ英Ⅱ ・定期考査 ・課題提出 英表Ⅱ ・定期考査 ・暗唱テスト ・課題提出	・聞き取ったことの要点を理解できる。 ・必要な詳細情報を意識して、聞き取れる。 ・ナチュラルなスピードのネイティブの英語の聞き取りにくい音声の特徴を理解し、推測しながら聞き取とれる。 ・発表者・発言者の言ったことを積極的に聞き取れる。	コ英Ⅱ ・リスニング教材 ・定期考査 英表Ⅱ ・ CD 等音声教材	・社会的な話題や時事問題、科学的・歴史的な話題等、発展的な内容の英文を速読し、概要を掴むことができる。 ・難解な英文を精読し、情報や考えなどの根拠や例示などの詳細を捉え、また、的確な日本語にすることができる ・辞書や資料を必要に応じて適切に使いこなすことができる。	コ英Ⅱ ・定期考査 ・課題提出 英表Ⅱ ・定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	発表、ペアワーク、グループワークで関心・意欲を持って言語活動を行っているかについて、授業における発言の回数や、ペアワーク、グループワークでの態度や積極性の観察など、的確に評価できる方法で実施する。	習得した語彙や表現を使えているか、論理的に考えを表現できているかについて、小テスト・定期テスト、ノート・プリント等の提出など、的確に評価できる方法で実施する。	英文を聞いたり読んだりした内容を理解できているかについて、小テスト・定期テスト、ノート・プリント等の提出など、的確に評価できる方法で実施する。	聞いたり読んだりした英文を通して、外国語や異文化について母語や自国の文化と対比しながら考え理解しているかについて、発表やエッセイの提出など、的確に評価できる方法で実施する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4　学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	題材利用の視点	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 1 （12 時間）	学ぶことへの意欲を捨て切れなかった少年が独学で発電を学んだことを述べた内容。 ※文型・文法事項：With …などが条件を表す仮定法／同格の that	学ぶということに関心を持たせ，生徒がこれまでに学習してきたことの活用方法について自ら考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，主人公の少年が独学で発電を学んだことについて理解しようとする。 b. 主人公の少年が独学で発電を学んだことについての英文を読んで，学ぶということに関心を持ち，知識を深めようとする。 c. 主人公の少年が独学で発電を学んだことについて，自分の考えを英語で表現しようとする。 d. 主人公の少年が独学で発電を学んだことについての自分の考えを英語で書こうとする。	a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，主人公の少年が独学で発電を学んだことについて理解しようとしている。 b. 主人公の少年が独学で発電を学んだことについての英文を読んで，学ぶということに関心を持ち，知識を深めようとしている。 c. 主人公の少年が独学で発電を学んだことについて，自分の考えを英語で表現しようとしている。 d. 主人公の少年が独学で発電を学んだことについての自分の考えを英語で書こうとしている。	・JTE，ALT の発言や CD を聞いたり，英文を読んだりして，その内容を理解し，それについて話したり，書いたりする活動を行う。	・話す，書くを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
			「外国語表現の能力」			
			a. 英問に口頭で適切に解答する。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. JTE，ALT からの問いかけに対して適切に応答する。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言をする。 e. With …などが条件を表す仮定法／同格の that など，学習した表現を用いた文を書く。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書く。	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。 c. JTE，ALT からの問いかけに対して適切に応答することができる。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 e. With …などが条件を表す仮定法／同格の that など，学習した表現を用いた文を書くことができる。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書くことができる。	・英文に関する英問に解答したり Over to You で発表活動を行ったりする。 ・課末の練習問題に解答する。	・授業における簡単なインタビューテストや筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。
			「外国語理解の能力」			
			a. 本文の英文を聞いて，内容を理解する。 b. 本文の英文を読んで，主人公の少年の行動について理解する。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解する。 d. 本文の Summary を把握する。	a. 本文の英文を聞いて，内容を理解することができる。 b. 本文の英文を読んで，主人公の少年の行動について理解することができる。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解することができる。 d. 本文の Summary を把握することができる。	・英文を読んで内容を把握し，英語の質問に答えたり要約したりする。	・授業において内容把握を確認する英問を行ったり簡単な筆記テストを行う。 ・課末の Summary などの練習問題の解答状況を見る。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			a. マラウィの言語と文化や，主人公の少年が独学で発電を学んだことについて理解する。 b. With …などが条件を表す仮定法／同格の that を用いた文を理解する。	a. マラウィの言語と文化や，主人公の少年が独学で発電を学んだことについて理解することができる。 b. With …などが条件を表す仮定法／同格の that を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり，参考資料による学習を行ったりする。 ・課末の Language Awareness による学習を行う。	・筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。

単元 （配当時間）	題材内容	題材利用の視点	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 2 （12 時間）	オリンピックの歴史とオリンピックにおける「おもてなし」の精神について述べた内容。 ※文型・文法事項：未来完了形／完了動名詞	オリンピックの歴史に関心を持たせ，オリンピックの意義と世界平和・国際協調の関連について自ら考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，オリンピックの歴史とオリンピックにおける「おもてなし」の精神について理解しようとする。 b. オリンピックの歴史とオリンピックにおける「おもてなし」の精神についての英文を読んで，オリンピックの意義に関心を持ち，知識を深めようとする。 c. オリンピックの歴史とオリンピックにおける「おもてなし」の精神について，自分の考えを英語で表現しようとする。 d. オリンピックの歴史とオリンピックにおける「おもてなし」の精神についての自分の考えを英語で書こうとする。	a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，オリンピックの歴史とオリンピックにおける「おもてなし」の精神について理解しようとしている。 b. オリンピックの歴史とオリンピックにおける「おもてなし」の精神についての英文を読んで，オリンピックの意義に関心を持ち，知識を深めようとしている。 c. オリンピックの歴史とオリンピックにおける「おもてなし」の精神について，自分の考えを英語で表現しようとしている。 d. オリンピックの歴史とオリンピックにおける「おもてなし」の精神についての自分の考えを英語で書こうとしている。	・JTE，ALT の発言や CD を聞いたり，英文を読んだりして，その内容を理解し，それについて話したり，書いたりする活動を行う。	・話す，書くを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
			「外国語表現の能力」			
			a. 英問に口頭で適切に解答する。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. JTE, ALT からの問いかけに対して適切に応答する。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言をする。 e. 未来完了形／完了動名詞など，学習した表現を用いた文を書く。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書く。	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。 c. JTE，ALT からの問いかけに対して適切に応答することができる。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 e. 未来完了形／完了動名詞など，学習した表現を用いた文を書くことができる。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書くことができる。	・英文に関する英問に解答したり Over to You で発表活動を行ったりする。 ・課末の練習問題に解答する。	・授業における簡単なインタビューテストや筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。
			「外国語理解の能力」			
			a. 本文の英文を聞いて，内容を理解する。 b. 本文の英文を読んで，オリンピックの意義について理解する。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解する。 d. 本文の Summary を把握する。	a. 本文の英文を聞いて，内容を理解することができる。 b. 本文の英文を読んで，オリンピックの意義について理解することができる。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解することができる。 d. 本文の Summary を把握することができる。	・英文を読んで内容を把握し，英語の質問に答えたり要約したりする。	・授業において内容把握を確認する英問を行ったり簡単な筆記テストを行う。 ・課末の Summary などの練習問題の解答状況を見る。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			a. オリンピックをはじめとしたスポーツ文化について理解する。 b. 未来完了形／完了動名詞を用いた文を理解する。	a. オリンピックをはじめとしたスポーツ文化について理解することができる。 b. 未来完了形／完了動名詞を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり，参考資料による学習を行ったりする。 ・課末の Language Awareness による学習を行う。	・筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。

単元 （配当時間）	題材内容	題材利用の視点	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 3 （12 時間）	動物による道具使用の多様性とその特徴を述べた内容。 ※文型・文法事項：仮定法を含む表現／否定語＋倒置	動物の知能に関心を持たせ，動物の道具使用について自ら考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，動物による道具使用の多様性とその特徴について理解しようとする。 b. 動物による道具使用の多様性とその特徴についての英文を読んで，動物の知能に関心を持ち，知識を深めようとする。 c. 動物による道具使用の多様性とその特徴について，自分の考えを英語で表現しようとする。 d. 動物による道具使用の多様性とその特徴についての自分の考えを英語で書こうとする。	a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，動物による道具使用の多様性とその特徴について理解しようとしている。 b. 動物による道具使用の多様性とその特徴についての英文を読んで，動物の知能に関心を持ち，知識を深めようとしている。 c. 動物による道具使用の多様性とその特徴について，自分の考えを英語で表現しようとしている。 d. 動物による道具使用の多様性とその特徴についての自分の考えを英語で書こうとしている。	・JTE，ALT の発言や CD を聞いたり，英文を読んだりして，その内容を理解し，それについて話したり，書いたりする活動を行う。	・話す，書くを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
			「外国語表現の能力」			
			a. 英問に口頭で適切に解答する。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. JTE, ALT からの問いかけに対して適切に応答する。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言をする。 e. 仮定法を含む表現／否定語＋倒置など，学習した表現を用いた文を書く。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書く。	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。 c. JTE，ALT からの問いかけに対して適切に応答することができる。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 e. 仮定法を含む表現／否定語＋倒置など，学習した表現を用いた文を書くことができる。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書くことができる。	・英文に関する英問に解答したり Over to You で発表活動を行ったりする。 ・課末の練習問題に解答する。	・授業における簡単なインタビューテストや筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。
			「外国語理解の能力」			
			a. 本文の英文を聞いて，内容を理解する。 b. 本文の英文を読んで，動物による道具使用について理解する。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解する。 d. 本文の Summary を把握する。	a. 本文の英文を聞いて，内容を理解することができる。 b. 本文の英文を読んで，動物による道具使用について理解することができる。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解することができる。 d. 本文の Summary を把握することができる。	・英文を読んで内容を把握し，英語の質問に答えたり要約したりする。	・授業において内容把握を確認する英問を行ったり簡単な筆記テストを行う。 ・課末の Summary などの練習問題の解答状況を見る。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			a. 道具使用の文化や，動物による道具使用の多様性とその特徴について理解する。 b. 仮定法を含む表現／否定語＋倒置を用いた文を理解する。	a. 道具使用の文化や，動物による道具使用の多様性とその特徴について理解することができる。 b. 仮定法を含む表現／否定語＋倒置を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり，参考資料による学習を行ったりする。 ・課末の Language Awareness による学習を行う。	・筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。

単元 （配当時間）	題材内容	題材利用の視点	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 4 （12 時間）	レシャード・カレッド医師の日本・アフガニスタン両国での医療活動について述べた内容。 ※文型・文法事項：be to-不定詞／前置詞＋関係代名詞	レシャード・カレッド医師の医療活動に関心を持たせ，医療の真のあり方について自ら考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，レシャード・カレッド医師の医療活動について理解しようとする。 b. レシャード・カレッド医師の医療活動についての英文を読んで，医療の真のあり方に関心を持ち，知識を深めようとする。 c. レシャード・カレッド医師の医療活動について，自分の考えを英語で表現しようとする。 d. レシャード・カレッド医師の医療活動についての自分の考えを英語で書こうとする。	a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，レシャード・カレッド医師の医療活動について理解しようとしている。 b. レシャード・カレッド医師の医療活動についての英文を読んで，医療の真のあり方に関心を持ち，知識を深めようとしている。 c. レシャード・カレッド医師の医療活動について，自分の考えを英語で表現しようとしている。 d. レシャード・カレッド医師の医療活動についての自分の考えを英語で書こうとしている。	・JTE，ALT の発言や CD を聞いたり，英文を読んだりして，その内容を理解し，それについて話したり，書いたりする活動を行う。	・話す，書くを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
			「外国語表現の能力」			
			a. 英問に口頭で適切に解答する。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. JTE, ALT からの問いかけに対して適切に応答する。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言をする。 e. be to-不定詞／前置詞＋関係代名詞など，学習した表現を用いた文を書く。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書く。	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。 c. JTE，ALT からの問いかけに対して適切に応答することができる。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 e. be to-不定詞／前置詞＋関係代名詞など，学習した表現を用いた文を書くことができる。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書くことができる。	・英文に関する英問に解答したり Over to You で発表活動を行ったりする。 ・課末の練習問題に解答する。	・授業における簡単なインタビューテストや筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。
			「外国語理解の能力」			
			a. 本文の英文を聞いて，内容を理解する。 b. 本文の英文を読んで，レシャード・カレッド医師の医療活動について理解する。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解する。 d. 本文の Summary を把握する。	a. 本文の英文を聞いて，内容を理解することができる。 b. 本文の英文を読んで，レシャード・カレッド医師の医療活動について理解することができる。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解することができる。 d. 本文の Summary を把握することができる。	・英文を読んで内容を把握し，英語の質問に答えたり要約したりする。	・授業において内容把握を確認する英問を行ったり簡単な筆記テストを行う。 ・課末の Summary などの練習問題の解答状況を見る。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			a. アフガニスタンの文化・風土・人の気質について理解する。 b. be to-不定詞／前置詞＋関係代名詞を用いた文を理解する。	a. アフガニスタンの文化・風土・人の気質について理解することができる。 b. be to-不定詞／前置詞＋関係代名詞を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり，参考資料による学習を行ったりする。 ・課末の Language Awareness による学習を行う。	・筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。

単元 （配当時間）	題材内容	題材利用の視点	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 5 （12 時間）	食糧損失と食糧廃棄について，それらが発生する理由や引き起こす影響を述べた内容。 ※文型・文法事項：独立分詞構文／複合関係詞	食糧損失･食糧廃棄に関心を持たせ，それらを減らすために私たちができることについて自ら考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，食糧損失と食糧廃棄について理解しようとする。 b. 食糧損失と食糧廃棄についての英文を読んで，それらを減らすためにできることに関心を持ち，知識を深めようとする。 c. 食糧損失と食糧廃棄について，自分の考えを英語で表現しようとする。 d. 食糧損失と食糧廃棄についての自分の考えを英語で書こうとする。	a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，食糧損失と食糧廃棄について理解しようとしている。 b. 食糧損失と食糧廃棄についての英文を読んで，それらを減らすためにできることに関心を持ち，知識を深めようとしている。 c. 食糧損失と食糧廃棄について，自分の考えを英語で表現しようとしている。 d. 食糧損失と食糧廃棄についての自分の考えを英語で書こうとしている。	・JTE，ALT の発言や CD を聞いたり，英文を読んだりして，その内容を理解し，それについて話したり，書いたりする活動を行う。	・話す，書くを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
			「外国語表現の能力」			
			a. 英問に口頭で適切に解答する。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. JTE, ALT からの問いかけに対して適切に応答する。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言をする。 e. 独立分詞構文／複合関係詞など，学習した表現を用いた文を書く。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書く。	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。 c. JTE，ALT からの問いかけに対して適切に応答することができる。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 e. 独立分詞構文／複合関係詞など，学習した表現を用いた文を書くことができる。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書くことができる。	・英文に関する英問に解答したり Over to You で発表活動を行ったりする。 ・課末の練習問題に解答する。	・授業における簡単なインタビューテストや筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。
			「外国語理解の能力」			
			a. 本文の英文を聞いて，内容を理解する。 b. 本文の英文を読んで，食糧損失と食糧廃棄について理解する。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解する。 d. 本文の Summary を把握する。	a. 本文の英文を聞いて，内容を理解することができる。 b. 本文の英文を読んで，食糧損失と食糧廃棄について理解することができる。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解することができる。 d. 本文の Summary を把握することができる。	・英文を読んで内容を把握し，英語の質問に答えたり要約したりする。	・授業において内容把握を確認する英問を行ったり簡単な筆記テストを行う。 ・課末の Summary などの練習問題の解答状況を見る。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			a. 日本と世界の食をとりまく状況について理解する。 b. 独立分詞構文／複合関係詞を用いた文を理解する。	a. 日本と世界の食をとりまく状況について理解することができる。 b. 独立分詞構文／複合関係詞を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり，参考資料による学習を行ったりする。 ・課末の Language Awareness による学習を行う。	・筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。

単元 （配当時間）	題材内容	題材利用の視点	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 6 （12 時間）	岡本太郎氏の来歴や，戦争に対する考え方が自らの作品に与えた影響を述べた内容。 ※文型・文法事項：動名詞の意味上の主語／動名詞（受動態）	岡本氏の創作に関心を持たせ，それが世界に与えている影響について自ら考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，岡本太郎氏の来歴と氏の作品の根底にある考えについて理解しようとする。 b. 岡本太郎氏の来歴と氏の作品の根底にある考えについての英文を読んで，氏の創作に関心を持ち，知識を深めようとする。 c. 岡本太郎氏の来歴と氏の作品の根底にある考えについて，自分の考えを英語で表現しようとする。 d. 岡本太郎氏の来歴と氏の作品の根底にある考えについての自分の考えを英語で書こうとする。	a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，岡本太郎氏の来歴と氏の作品の根底にある考えについて理解しようとしている。 b. 岡本太郎氏の来歴と氏の作品の根底にある考えについての英文を読んで，氏の創作に関心を持ち，知識を深めようとしている。 c. 岡本太郎氏の来歴と氏の作品の根底にある考えについて，自分の考えを英語で表現しようとしている。 d. 岡本太郎氏の来歴と氏の作品の根底にある考えについての自分の考えを英語で書こうとしている。	・JTE，ALT の発言や CD を聞いたり，英文を読んだりして，その内容を理解し，それについて話したり，書いたりする活動を行う。	・話す，書くを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
			「外国語表現の能力」			
			a. 英問に口頭で適切に解答する。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. JTE, ALT からの問いかけに対して適切に応答する。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言をする。 e. 動名詞の意味上の主語／動名詞（受動態）など，学習した表現を用いた文を書く。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書く。	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。 c. JTE，ALT からの問いかけに対して適切に応答することができる。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 e. 動名詞の意味上の主語／動名詞（受動態）など，学習した表現を用いた文を書くことができる。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書くことができる。	・英文に関する英問に解答したり Over to You で発表活動を行ったりする。 ・課末の練習問題に解答する。	・授業における簡単なインタビューテストや筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。
			「外国語理解の能力」			
			a. 本文の英文を聞いて，内容を理解する。 b. 本文の英文を読んで，岡本太郎氏の来歴と氏の作品について理解する。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解する。 d. 本文の Summary を把握する。	a. 本文の英文を聞いて，内容を理解することができる。 b. 本文の英文を読んで，岡本太郎氏の来歴と氏の作品について理解することができる。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解することができる。 d. 本文の Summary を把握することができる。	・英文を読んで内容を把握し，英語の質問に答えたり要約したりする。	・授業において内容把握を確認する英問を行ったり簡単な筆記テストを行う。 ・課末の Summary などの練習問題の解答状況を見る。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			a. 世界の芸術文化や，岡本太郎氏の来歴と氏の作品の根底にある考えについて理解する。 b. 動名詞の意味上の主語／動名詞（受動態）を用いた文を理解する。	a. 世界の芸術文化や，岡本太郎氏の来歴と氏の作品の根底にある考えについて理解することができる。 b. 動名詞の意味上の主語／動名詞（受動態）を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり，参考資料による学習を行ったりする。 ・課末の Language Awareness による学習を行う。	・筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。

単元 （配当時間）	題材内容	題材利用の視点	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 7 （12 時間）	マチュピチュ発見までの経緯と遺跡群の特徴を述べた内容。 ※文型・文法事項：完了形の分詞構文／主語が条件を表す仮定法	世界の遺跡に関心を持たせ，その発掘物の所有権について自ら考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，マチュピチュ発見までの経緯と遺跡群の特徴について理解しようとする。 b. マチュピチュ発見までの経緯と遺跡群の特徴についての英文を読んで，世界の遺跡に関心を持ち，知識を深めようとする。 c. マチュピチュ発見までの経緯と遺跡群の特徴について，自分の考えを英語で表現しようとする。 d. マチュピチュ発見までの経緯と遺跡群の特徴についての自分の考えを英語で書こうとする。	a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，マチュピチュ発見までの経緯と遺跡群の特徴について理解しようとしている。 b. マチュピチュ発見までの経緯と遺跡群の特徴についての英文を読んで，世界の遺跡に関心を持ち，知識を深めようとしている。 c. マチュピチュ発見までの経緯と遺跡群の特徴について，自分の考えを英語で表現しようとしている。 d. マチュピチュ発見までの経緯と遺跡群の特徴についての自分の考えを英語で書こうとしている。	・JTE，ALT の発言や CD を聞いたり，英文を読んだりして，その内容を理解し，それについて話したり，書いたりする活動を行う。	・話す，書くを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
			「外国語表現の能力」			
			a. 英問に口頭で適切に解答する。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. JTE, ALT からの問いかけに対して適切に応答する。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言をする。 e. 完了形の分詞構文／主語が条件を表す仮定法など，学習した表現を用いた文を書く。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書く。	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。 c. JTE，ALT からの問いかけに対して適切に応答することができる。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 e. 完了形の分詞構文／主語が条件を表す仮定法など，学習した表現を用いた文を書くことができる。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書くことができる。	・英文に関する英問に解答したり Over to You で発表活動を行ったりする。 ・課末の練習問題に解答する。	・授業における簡単なインタビューテストや筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。
			「外国語理解の能力」			
			a. 本文の英文を聞いて，内容を理解する。 b. 本文の英文を読んで，マチュピチュ発見までの経緯について理解する。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解する。 d. 本文の Summary を把握する。	a. 本文の英文を聞いて，内容を理解することができる。 b. 本文の英文を読んで，マチュピチュ発見までの経緯について理解することができる。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解することができる。 d. 本文の Summary を把握することができる。	・英文を読んで内容を把握し，英語の質問に答えたり要約したりする。	・授業において内容把握を確認する英問を行ったり簡単な筆記テストを行う。 ・課末の Summary などの練習問題の解答状況を見る。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			a. インカの文化や，マチュピチュ発見までの経緯と遺跡群の特徴について理解する。 b. 完了形の分詞構文／主語が条件を表す仮定法を用いた文を理解する。	a. インカの文化や，マチュピチュ発見までの経緯と遺跡群の特徴について理解することができる。 b. 完了形の分詞構文／主語が条件を表す仮定法を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり，参考資料による学習を行ったりする。 ・課末の Language Awareness による学習を行う。	・筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。

単元 （配当時間）	題材内容	題材利用の視点	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 8 （12 時間）	リトルロックナインが当時のアメリカ社会に与えた影響を述べた内容。 ※文型・文法事項：with＋名詞＋分詞など／仮定法現在	人種差別問題に関心を持たせ，現在ではそれは根絶されたのかについて自ら考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，リトルロックナインの歴史的成果について理解しようとする。 b. リトルロックナインの歴史的成果についての英文を読んで，人種差別問題に関心を持ち，知識を深めようとする。 c. リトルロックナインの歴史的成果について，自分の考えを英語で表現しようとする。 d. リトルロックナインの歴史的成果についての自分の考えを英語で書こうとする。	a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，リトルロックナインの歴史的成果について理解しようとしている。 b. リトルロックナインの歴史的成果についての英文を読んで，人種差別問題に関心を持ち，知識を深めようとしている。 c. リトルロックナインの歴史的成果について，自分の考えを英語で表現しようとしている。 d. リトルロックナインの歴史的成果についての自分の考えを英語で書こうとしている。	・JTE，ALT の発言や CD を聞いたり，英文を読んだりして，その内容を理解し，それについて話したり，書いたりする活動を行う。	・話す，書くを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
			「外国語表現の能力」			
			a. 英問に口頭で適切に解答する。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. JTE, ALT からの問いかけに対して適切に応答する。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言をする。 e. with＋名詞＋分詞など／仮定法現在など，学習した表現を用いた文を書く。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書く。	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。 c. JTE，ALT からの問いかけに対して適切に応答することができる。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 e. with＋名詞＋分詞など／仮定法現在など，学習した表現を用いた文を書くことができる。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書くことができる。	・英文に関する英問に解答したり Over to You で発表活動を行ったりする。 ・課末の練習問題に解答する。	・授業における簡単なインタビューテストや筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。
			「外国語理解の能力」			
			a. 本文の英文を聞いて，内容を理解する。 b. 本文の英文を読んで，リトルロックナインについて理解する。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解する。 d. 本文の Summary を把握する。	a. 本文の英文を聞いて，内容を理解することができる。 b. 本文の英文を読んで，リトルロックナインについて理解することができる。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解することができる。 d. 本文の Summary を把握することができる。	・英文を読んで内容を把握し，英語の質問に答えたり要約したりする。	・授業において内容把握を確認する英問を行ったり簡単な筆記テストを行う。 ・課末の Summary などの練習問題の解答状況を見る。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			a. アメリカの言語と文化や，リトルロックナインの歴史的成果について理解する。 b. with＋名詞＋分詞など／仮定法現在を用いた文を理解する。	a. アメリカの言語と文化や，リトルロックナインの歴史的成果について理解することができる。 b. with＋名詞＋分詞など／仮定法現在を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり，参考資料による学習を行ったりする。 ・課末の Language Awareness による学習を行う。	・筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。

単元 （配当時間）	題材内容	題材利用の視点	単元の目標	単元の評価基準	主な学習活動	評価方法
Lesson 9 （12 時間）	エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの交流を述べた内容。 ※文型・文法事項：進行形（受動態）／完了不定詞	日本・トルコの交流に関心を持たせ，真の国際交流について自ら考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの交流について理解しようとする。 b. エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの交流についての英文を読んで，真の国際交流に関心を持ち，知識を深めようとする。 c. エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの交流について，自分の考えを英語で表現しようとする。 d. エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの交流についての自分の考えを英語で書こうとする。	a. JTE，ALT の発言や CD を真剣に聞いて，エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの交流について理解しようとしている。 b. エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの交流についての英文を読んで，真の国際交流に関心を持ち，知識を深めようとしている。 c. エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの交流について，自分の考えを英語で表現しようとしている。 d. エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの交流についての自分の考えを英語で書こうとしている。	・JTE，ALT の発言や CD を聞いたり，英文を読んだりして，その内容を理解し，それについて話したり，書いたりする活動を行う。	・話す，書くを中心に言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ，取り組みの状況の判断材料として活用する。
			「外国語表現の能力」			
			a. 英問に口頭で適切に解答する。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表する。 c. JTE, ALT からの問いかけに対して適切に応答する。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言をする。 e. 進行形（受動態）／完了不定詞など，学習した表現を用いた文を書く。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書く。	a. 英問に口頭で適切に解答することができる。 b. 自分の考えや意見が正確に伝わるように発表することができる。 c. JTE，ALT からの問いかけに対して適切に応答することができる。 d. ペア，グループでの対話練習，話し合いにおいて，相手の理解を確認しながら適切な発言ができる。 e. 進行形（受動態）／完了不定詞など，学習した表現を用いた文を書くことができる。 f. 自分の考えや意見を表現する文を書くことができる。	・英文に関する英問に解答したり Over to You で発表活動を行ったりする。 ・課末の練習問題に解答する。	・授業における簡単なインタビューテストや筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。
			「外国語理解の能力」			
			a. 本文の英文を聞いて，内容を理解する。 b. 本文の英文を読んで，エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの交流について理解する。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解する。 d. 本文の Summary を把握する。	a. 本文の英文を聞いて，内容を理解することができる。 b. 本文の英文を読んで，エルトゥールル号遭難事件と日本・トルコの交流について理解することができる。 c. 各 Part において，本文の趣旨に基づき，英問の内容を理解することができる。 d. 本文の Summary を把握することができる。	・英文を読んで内容を把握し，英語の質問に答えたり要約したりする。	・授業において内容把握を確認する英問を行ったり簡単な筆記テストを行う。 ・課末の Summary などの練習問題の解答状況を見る。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			a. トルコの文化や風土，人の気質について理解する。 b. 進行形（受動態）／完了不定詞を用いた文を理解する。	a. トルコの文化や風土，人の気質について理解することができる。 b. 進行形（受動態）／完了不定詞を用いた文を理解することができる。	・本文を読んだり，参考資料による学習を行ったりする。 ・課末の Language Awareness による学習を行う。	・筆記テストを行う。 ・課末の練習問題の解答状況を見る。